

森のおくりもの5月



サクラスミレ (スミレ科)



写真：齋 正宏 (レンジャー)

5月の太白山自然観察の森は、鮮やかな新緑へと装いを変化させながら、色とりどりの花々と、蝶や野鳥などが織りなす華やかな世界となってきます。さわやかな春の気候とともに、森いっぱいの自然をお楽しみいただければと願っております。

(館長 菊池正行)

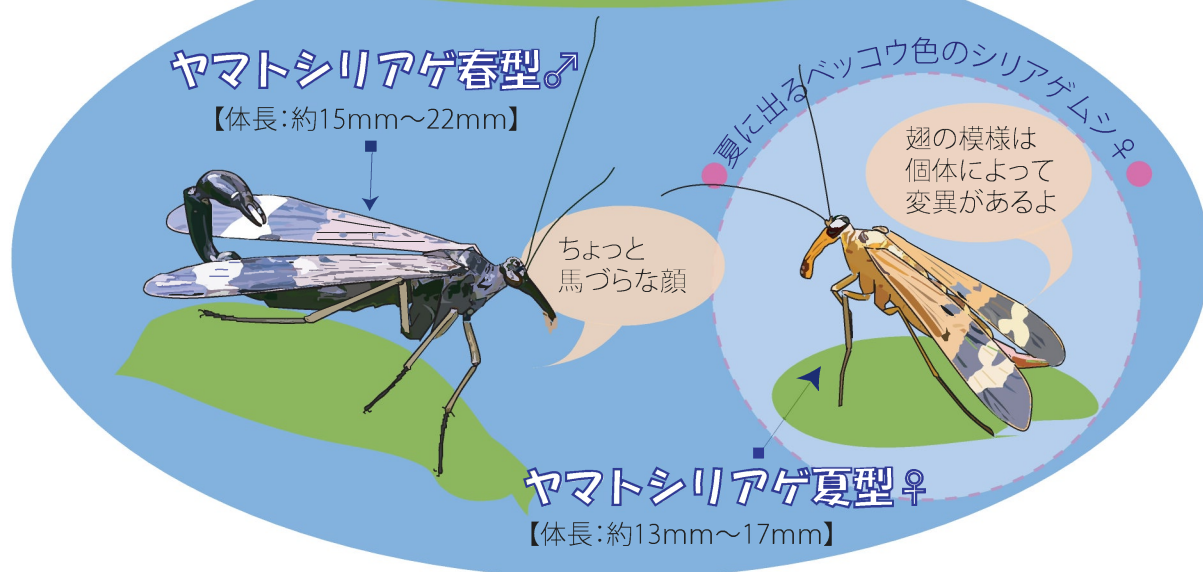
サソリのような尾がカッコイイ 『ヤマトシロアゲ』



そろそろ虫の姿も目立ち始める季節。「尻挙虫（しりあげむし）」という変わった姿の虫も出てきます。このように尾が反りあがっているのはオスだけです。どうしてお尻が上がっているのでしょうか。オス同士が喧嘩をするときに武器となるらしいのですが、私は、また1回も喧嘩のシーンを目にしていません。今年こそ、ぜひ見てみたいと思っています。

観察の森でシリアゲムシの仲間は「プライヤアシリアゲ」と「ヤマトシリアゲ」の2種類を見ることができます。今回はよく目にする「ヤマトシリアゲ」を紹介します。

?違うようで同じむし?



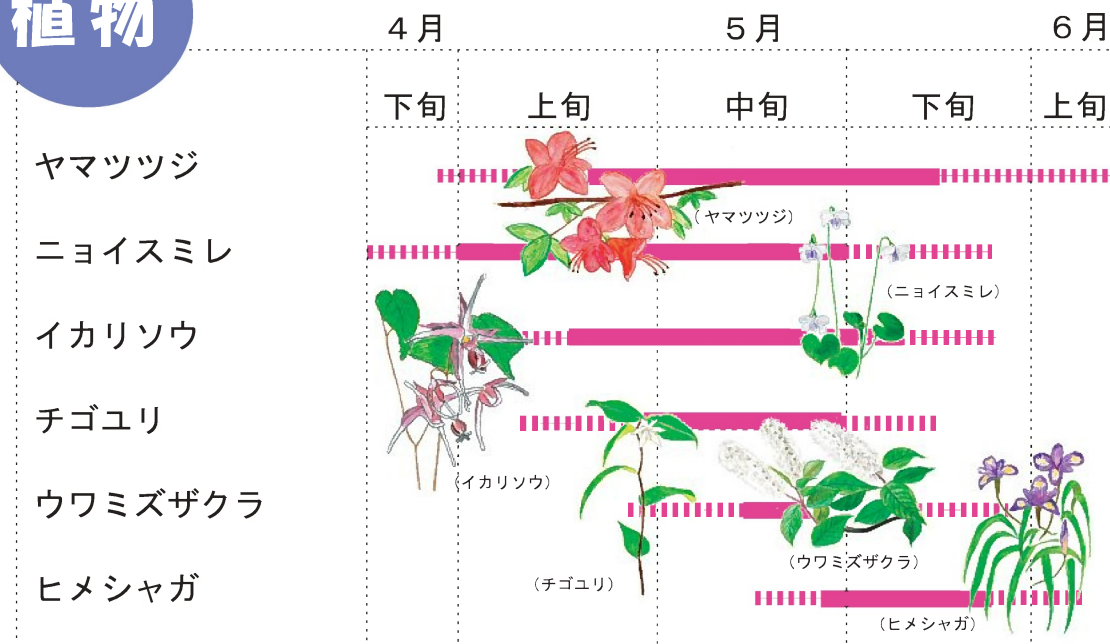
長い顔の先に口があります。この口で花粉や果実、昆虫の死骸、鳥の糞などを食べます。オスは、メスに餌をプレゼントして、メスがそのプレゼントを食べている間に尾端のハサミのようなところで、メスの翅や脚を掴んで交尾をします。メスはお尻が上がっていないので、見分けるのは簡単ですよ。年に2回出現し、春に羽化するものは黒く、夏に羽化するものは、やや小ぶりで、ベッコウ色をしています。これを「ベッコウシリアゲ」とよび、近年まで別種と考えられていました。こんなに色が変わると違う虫に見えますよね。

【レンジャー:黒川周子】

*英名ではオスの尾の形がサソリを連想させるので、「スコーピオンプライ」といいます。

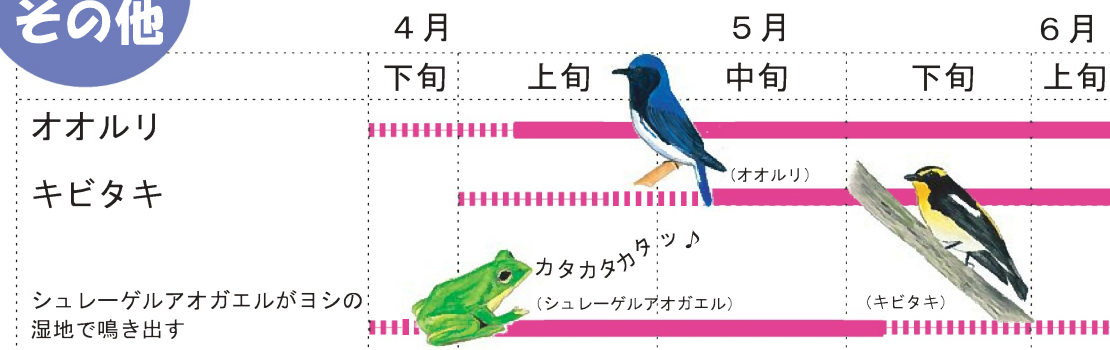
5月の生物ごよみ

植物



先日、森を散策しているとひときわ目をひく大きなスミレの花を発見。よく見るとサクラスミレでした。そこは今まで杉が密生していたため、一昨年間に間伐したところでした。間伐する前はいつでも薄暗く、植物もあまり多くありませんでした。しかし、間伐によって環境が変わったためか、今まで見ることが出来なかった植物が芽吹いてきたのかもしれませんが。特にサクラスミレは花が大きく人の目をひくため今までに何度も盗掘にあい少なくなっていました。今回はその周辺だけで5～6株のサクラスミレを見つけることが出来ました。他にもタチツボスミレやナガハシスミレなどいろいろ咲いていました。こんな綺麗な花がいつまでもみられる森作りをめざして日々頑張っていきたいと思います。【レンジャー：齋 正宏】

野鳥・その他



※間伐（かんばつ） 木々の育成を助けたり採光をよくするために、適当な間隔で木を伐採すること。

レンジャー発 木もれびBLOG



略してコモブロ 第12回『職業病?』

新しいテレビドラマも始まりましたが、みなさんはお気に入りのドラマはありましたか。レンジャーも家に帰れば普通にドラマも見ますが、このときに職業柄の“クセ”が出てしまいます。

それは、ドラマの自然考証?をしてしまうことです。例えば朝のシーンでよくあるのが野鳥のさえずりがバックに流れる場面です。このときアカハラやクロツグミの声が使用されるケースが多いようです。

ご存知のとおり、この野鳥たちがさえずるのは初夏の森の中なので、ドラマを見ながら「こんな住宅地の真ん中で、しかも冬にクロツグミがさえずっているのはおかしい!」などと、つついツイートしてしまっています。番組最後のテロップに、時代考証や方言指導などの方々のお名前が流れますが、レンジャー的には“自然考証”もして欲しいなと思います。



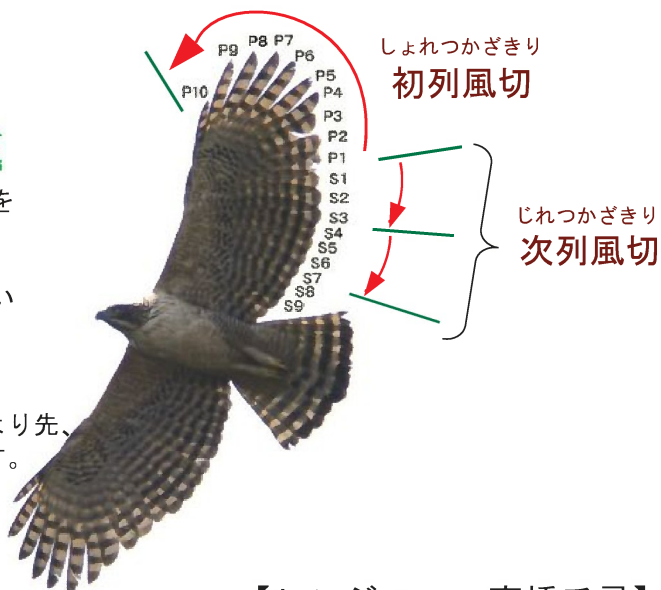
もうひとつ。来園者の方から、昔話に出てくる野鳥の習性と話の内容が合っているのか質問されたことがありました。「この鳥は話に出てくるような場所に、本当に巣をつくるのでしょうか?」との質問でしたがそんなふうに昔話を読んだことがなかったので、私も目からウロコが落ちる思いでした。

こんなふうに、いろんな角度から物事を見るのも面白いと思います。新しいドラマも違った目線で見ると新しい発見があるかもしれません。

自然観察 基礎のきそ

あえて、図鑑の一番最初に載っていることを取り上げ、初心に帰るこのコーナー。
今月は『野鳥の羽の生え換わる順番』です。
モデルはクマタカですが、街の上を飛んでいるトビも同じ順序で生え換わりますよ。

- ※1：ヒトの腕でいうと、初列風切は手首より先、次列風切は肘と手首の間に生えた羽です。
- ※2：翼に振ってあるPは「プライマリー」、Sは「セカンダリー」の略で、それぞれの羽の順番を表す記号です。



【レンジャー：高橋千尋】

森の散歩道♪♪

時の流れは、なんて早いのでしょうか。

色とりどりの形さまざまの花々、木々の若芽が次々と顔を出す。

静かに見える大地の虫たちが動き、小鳥たちが求愛、巣作り、産卵と、森の植物も動物も滞っていない。

森には昨日と違う今日があり、見過すまいと家事もそこそこに出かけるが森の生きものは待ってくれない。

5月の姿はどんなのだろう。おたまじゃくし（見てないが）がカエルに変身？

卵からサナギ・・・蝶や蛾になり、好みの花を求め遊覧飛行か？木の芽は親から受け継いだ姿を精一杯広げるのだろう。

中旬頃、あの巣箱からあの鳥のヒナが親に餌をねだる姿が見られるかも。

・・・もう、ワクワク、ドキドキ。

こんな変化には不思議がいっぱい。感動がいっぱい。

さあー、ルーペと双眼鏡をもって出かけましょう。

小さな世界、広～い世界は、あなたのもの。



昨年、ルーペの中で出会ったちぢみ笹の花のフリルの緻密な作り。頭に浮かんだのは、アニメ「アリエッティ」（宮崎駿の借りぐらしのアリエッティ）のドレスにと。木々の若芽の折り目は源氏のセンス？

・・・感動と空想に浸ったひととき、太陽とそよ風に身をまかせる若葉は世界中、誰も持っていない私だけのスタンドグラス。一人散歩の時なら横になったかも。わらべ達の五感にはかなわないけれど、生きている森に今日も会いに行く。

♪僕らは皆生きている～ミミズだって オケラだって アメンボだって～♪皆々 生きているんだ 友だちなんだ～。

知らないことがいっぱい。レンジャー、先輩、純真な子ども達、今日も宜敷く。森を知らない方、お出かけ下さい。虜になりますよ。

文：鈴木富子さん（太白区）

5月のイベント

①『若葉の虫むしめっけ♪』

- 【日 時】11日(土) 10:00自然観察センター集合 ~11:30
 やわらかい若葉に集まる小さな虫たちの世界を、そっとのぞきます♪
 【定 員】小学生未満の子供とその保護者。先着15名
 【費 用】無料
 【申込み】5月6日(祝) 9:00から電話で受け付け開始



②『おはよう野鳥かんさつ』

- 【日 時】18日(土) 6:30自然観察センター集合 ~8:00
 初夏の雑木林で野鳥のさえずりに聞き惚れましょう! 双眼鏡の貸し出しあり。
 【申込み】不要。集合時間までにセンター前にお集まり下さい。参加無料。

③『ぴっぴ先生の小鳥の巣箱かんさつ・子育て編』

- 【日 時】18日(土) 10:00自然観察センター集合 ~12:00
 巣箱で子育てをする野鳥を、すぐ近くから観察します。双眼鏡の貸し出しあり。
 【定 員】自然や野鳥に興味のある方。先着10名
 【費 用】無料
 【申込み】5月6日(祝) 9:00から電話で受け付け開始



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

5月のテーマは『輝く若葉のなかで』です

開催日は5日、12日、19日、26日

午前の部10:00~11:30 午後の部13:30~15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

- 26日の午後は館長によるガイドウォーク
「館長と森を歩こう」です。

5月の休館日

7日、13日、
20日、27日

6日(月)が祝日
となりますので
7日が休館です。

表紙の絵や
原稿を募集
しています。



里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

GWは自然観察の森へ!

5月3日、4日、6日はGW特別ガイドウォークを開催。
10:00 自然観察センター集合。申込みの必要なし。

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「杜のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年4月号(毎月1回5日発行)
発行:(公財)仙台市公園緑地協会
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp